### 西

#### 島根界教育方 隐域数商事務的

#### 隐顷息町湖境叫 受話2-9772

## 【ノ島町 教育活動の紹介

# ふるさと教育の取組

その取り組みについて紹介し ます。 教育を進めています。今回は、 わる学習の充実と学力向上の 連を図りながら、ふるさと 西ノ島町では、地域にかか

との関連について検討し共通 導計画の運用や、ふるさと教 教育担当者会を開き、年間指 遣社会教育主事とでふるさと 担当者、派遣指導主事、 年度初め、 中で身につけさせたい力 小学校・中学校 派 作り体験する。

を受けることを目指して と設定し、単元において必ず 間でつけたい力のメインを 今年度は、総合的な学習の時 々な他者からフィードバック 一、テーマ…「西ノ島 「まとめる力・表現する力」 現する場を設けること、様 解を図りました。そこで、 では、総合的な学習の むことにしました。 一例をご紹介します。 0) 伝統 取り 時 間 ④整理…体験したり、 スター作りをする。 の修復) ビューしたりしたことを基に ポスター

関わる人が少なくなって を作ってみよう」「精霊船に ②課題設定…「実際に精霊船 ることなど)を確認する。 る人からの情報収集・表現す に学習の進め方(関わってい ついて学ぶことを知るととも や動画素材をもとに精霊船に ①めあての確認…自分の経験 探求的な学習の流れ いる

る人にインタビューをし、 りたい情報を収集する。 ③情報収集…課題解 に展示してある精霊船の模型 地域の指導者とともに精霊船 め、精霊船製作に携わってい ので増やしたい」 (ふるさと館 決の 知 た めるにあたり、 となりました。

インタ

隠

かり、たくさんの人員が必要体験では、かなりの労力がか ⑤まとめ・表現…精霊船作り ュニティ図書館に展示し、 もとにポスターで精霊船作り して精霊船をアピールするポ に携わる人を呼びかけた。 なことを体感し、その体感を な方に見てもらって は人が集まるコミ ま

ます。 見ることができました。これ すが、この学習を通して、 組んで間もない子どもたちで 力」を育成したいと考えてい こと」を活用した学習を通し からも地域の「ひと・もの・ き生きと学習に取り組む姿を て、「まとめる力・表現する 総合的な学習の時 間に取 生 ŋ

(派遣指導主

が加わり総勢十三名の協議会 働活動推進員などの地域住民 育園代表、区長、地域学校協 員、PTA代表に、新たに保 評価委員であった民生児童委 となりました。もともと学校 学校運営協議会の取 校は学校運営協議会を設置 コミュニティ・スクー -度より、西ノ島小中 ル

「児童・生徒の安全」につい学校だけでは負担の大きい りを目指します。 らの提案で、会の名称を「西 力向上」、「ふるさと教育」 て活動していきます。委員か ノ島小中学校を支える会」と 西ノ島の小中一 域と共にある学校づく 柱となる「学 貫教育を進

を進めています。 知る」「委員同士が仲良くな 会では、 る」の二つをテー 五月に行われた第一回 今年度は、「委員が学校を アイスブレ マに協議会 イクを交 目  $\mathcal{O}$ 

えながらの委員の自己紹 行いました。 取り組めそうなことの協議を 校長先生による学校経営につ タッフが協働し、中学生の定 運営協議委員と教育委員会ス のために学校・家庭・地域で いての紹介の後、 学力向上につ

、ては、

学校

る。そして、

学習したことを

と思えるような単元を構成す 児童が「図書館で調べたい」

組 かけ、 ました。委員を中心に大人の 島留学生と島前高校生に声を 期テスト前の自習室を開催

には、 では、保護者や児童の学校評 が手伝ってくれました。 参加、スタッフとして十六名 日の二日間で開催した自習室 スタッフを募集しました。土 九月に行われた第二回の会 中学生が延べ二十六名 中学生の自習を手伝う

の興味のあることや配慮を要いてはもちろんのこと、児童

司書と共有し、

扱う資料につ

り、学校・家庭・地域が連携 つかり議論できる協議会とな を予定しています。 いと考えています。 育てる機運を醸成していきた の意見などがありました。 協働して西ノ島の子どもを 今年度は、残り二回 委員がし |の会議

(派遣社会教育主事 廣江)

## 研究事業

学校図書館活用教育

公開授業

立 |磯小学校において、 十月二十六日、 隠岐の島町 四年生

現状や理想 介、 国語 た。授業は、

にすること

相手意識·目

的

意識を大切

単元のゴールを明確に

自で調べる。 『前時まで』ALTの

合いの中で「良いね」「なる ための「リアクションシール」 聞き手の感想を端的に伝える ほど」「びっくり」といった する姿が見られました。話し みを根拠に活発に意見交換を らグループ内で伝え合い、事 とを情報カードに記入しなが すく説明するために調べたこ 前に調べておいたALTの好 児童は、 A L T に わかりや

成

■情報リテラシー

スキルの

価アンケートをもとに協議

し、下校の見守りについて等

印象的でした。 をお互いの作成した情報カー 見を尊重し、お互いのよさを ドに貼り合い、友達同士の意 認め合いながら活動する姿が

【磯小学校の取組】

習する児童の姿の背景にある 磯小学校の取組を紹介しま を尊重し、認め合いながら学 今回の授業のようにお互

校図書館で情報を収集し、 次のとおりです。 容でした。学習の主な流れは 伝統工芸品を伝えるために学 町に来島したALTに日本の かりやすくまとめるという内 科の 授業が公開され 今年度隠岐の島 まし

聞いて、自分が興味を持った 日本の伝統工芸品について各 『本時』集めた情報をグル が好みを

> 学習を促す。 の学習意欲を高め、 明確にすることにより、 誰に、何のために伝えるかを

主体的な

児童

詳しく調べる。 選んだ工芸品についてさらに を詳しく調べるか話し合い、 プで共有し、どの伝統工芸品

書との密な連

単元や学習のねらいに

授業者と司書教諭、

学校

■授業者・司書教諭・

学校司

導を行う。 図ることでよりきめ細かな指 する事項について共通理解を

集、 帯学習の時間に、 選択、活用、表現する力E学習の時間に、情報を収

践となっております。今回のおいても非常に参考になる実び成果は、それぞれの学校に 考にしていただき、各学校で 公開授業及び研究の成果を参 を高める学習を設定する。 ればと思います。 有する等、活用していただけ も校内での研修等で情報を共 磯小学校の本事業の取 組